

**「自分を見つめ直す場所」として
利用しました。**

文学部 英語教育学科

私は個別面談を、「自分を見つめ直す場所」として利用しました。私
人では恥ずかしくてなかなか書けなかった素直な気持ちを、実際に声に
出したことにより、「本当の自分の気持ち」として認めて貰うことができたから
です。また、話すことにより、今まで気づけなかった自分の気持ちにも
気づくことができました。そして、自分の将来のビジョンが明確に叶えてしま
した。

**どの学科にするか悩んでいましたが
質問に答えていく中で見つけることができました。**

農学部 生物資源学科
(現 生産農学科)

どの学科にすれば良いか分からなかったので、個別面談
を受けました。その時に、自分がやりたい事や、好きな教科
などを聞かれ、答えているうちに、自分がやりたい事がどの学
科なのか分かりました。

パンフレットではわからない 具体的な内容も知ることができました。

教育学部 乳幼児発達学科

毎回オープンキャンパスの時に利用させて頂きました。そのときはパンフレットではわからないような具体的な内容を質問し、知ることができました。例えば「CAP制度を取り入れているが、実際自分にとって何が良いのかなど」、他にも授業内容を聞きました。さらに、夏休みには予約制の個別面談をさせて頂きコミュニケーションシートを仕上げた上で疑問に思ったことを質問し解決させることができました。個別面談をたくさんくり返すうちに大学に通うイメージが鮮明になっていきました。

なぜ美術大学ではなく玉川大学を選んだのかを 明記することができました。

芸術学部 メディア・デザイン学科

私は芸術学部を志望していたので、担当の先生からの「なぜ美術大学ではなく、玉川大学を選んだのか。」「総合大学で四年間美術を学ぶことの長所は何か。」ということも明記することが大切であるというアドバイスがコミュニケーションシート作成への大きな材料となりました。また、自分の疑問に思っていることを教えていただけでなく、先生からの質問に答えていくことで、自分と玉川大学との相性を確かめることができました。

漢検 CBT の受験を アドバイスされました。

リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科

自分が抱いていた質問に対して、丁寧に応じていただきました。最初は、どのような面談をするのか不安で、緊張していましたが、優しく接して下さり、多くの疑問が解決しました。そして、検定取得について相談した際、漢検 CBT の受験を勧めて下さり、無事に合格できたので、大変感謝しています。

一つの設問の中に複数の質問があることに 気付くことができました。

観光学部 観光学科

私は個別面談を受ける前にある程度コミュニケーションシートを作成し、自分が書きにくいと思った設問について質問するために個別面談を利用しました。一つの設問の中に複数の質問があることなど自分では気付かなかつたことを教えて頂きました。また、どのように書き進めればよいかと質問したところ、「将来の自分から逆算する」「大学でどのようなことを学び夢に役立てるか」という的確なアドバイスを頂き自分の考えを掘り下げてコミュニケーションシートを作成することができました。